

おおだて 市議会だより

120号

平成28年5月1日



早口小学校 入学式

平成28年4月7日

平成28年 3月定例会 (会期: 2月23日~3月14日)

- 主な議案等の審議結果 (3月定例会) P.2
- 一般質問 P.4
- 議会報告会 市に対するご意見・ご要望とその回答 ... P.8
- 私もひ・と・こ・と P.12

主な議案等の審議結果

3月定例会（会期：2月23日～3月14日）

内訳：懲罰動議の提出1件、選任1件、懲罰1件、専決処分の承認2件、条例案20件、単行案7件、予算案41件、請願2件、陳情6件、議案の訂正1件、人事案6件、議員の派遣1件、継続審査中の請願7件・陳情3件

計99件

主 な 案 件 ・ 内 容	結 果
2月29日の本会議一般質問において、相馬正三子議員の発言に対し、「問題発言であり、発言を訂正すべき」と田村儀光議員が不規則発言（議長の許可を得ない発言）を行いました。 これらの発言について議会運営委員会で協議が行われ、相馬議員の発言は不適切であり、発言の取り消しを求めるべきとの意見が多数出され、相馬議員に発言の取り消しを申し入れましたが、本人がこれを拒否しました。これを受け、議員12名が懲罰動議を提出しました。 ○ 懲罰動議の提出について 懲罰動議が成立したため、懲罰特別委員会が設置されました。また、不規則発言を行った田村議員には、本会議において議長から「厳重注意」が申し渡されました。	起立採決により 可 決 (賛 成 15 反対等 11)
○ 懲罰特別委員の選任 懲罰特別委員会が設置されたため、7名の委員が選任されました。	選 任
○ 議員の懲罰の件について 懲罰特別委員会の審査結果に基づき、3月1日の本会議において相馬議員に対する懲罰「戒告」が可決され、その場で議長から相馬議員に「戒告」が申し渡されました。	起立採決により 可 決 (賛 成 20 反対等 6)
○ 第2次新大館市総合計画基本構想の策定について 総合的かつ計画的な行政運営を図るため、平成28年度から平成35年度までの8年間の計画期間とする新たな基本構想を策定するものです。	原案可決
○ 平成27年度大館市一般会計補正予算（第9号）案 ・ 庁舎等整備基金積立金 3億0,078万1,000円 ・ ふるさと応援寄附基金積立金の追加 3億5,012万6,000円 ・ 財政調整基金積立金の追加 3億8,873万1,000円 ・ 減債基金積立金 5億0,030万2,000円 ・ 生活バス路線維持費補助金 1億3,040万5,000円 ・ 教育施設整備基金積立金 1億0,235万3,000円 以上を含め、補正総額 17億1,538万7,000円	原案可決

主 な 案 件 ・ 内 容		結 果
○ 平成28年度大館市一般会計予算案		起立採決により 可 決 (賛 成 24 反対等 2)
・ 本庁舎建設事業費	5,867万7,000円	
・ あきた未来づくりプロジェクト事業費	1,745万9,000円	
・ 参議院議員通常選挙費	4,263万4,000円	
・ 障害者自立支援給付費	16億7,102万4,000円	
・ 児童手当給付費	9億3,314万5,000円	
・ 園芸メガ団地整備事業	1億4,716万1,000円	
・ 耕作放棄地発生防止作付推進事業費	1億1,312万4,000円	
・ 住宅リフォーム支援事業費	8,231万8,000円	
・ 社会教育施設改良費	5億4,805万8,000円	
・ 大館城跡発掘調査事業費	4,617万6,000円	
以上を含め、総額 320億3,340万4,000円		

請願と陳情

3月定例会に提出されたもの

請 願	○ フットボール専用人工芝グラウンドの設置について	継続審査
	○ 安全保障関連法の強行採決に抗議し、同法の廃止を求めることについて	起立採決により 不 採 択 (不採択 20 採択等 6)
陳 情	○ 平和安全保障関連法の廃止について	
	○ 安全保障関連2法（国際平和支援法・平和安全法制整備法）の廃止について	
	○ 田代町町内の市道認定について	採 択
	○ 脳しんとう（軽度外傷性脳損傷）の周知、及び医療・支援体制の整備について ○ 全国一律最低賃金制度実現と最低賃金の改善、及び中小企業への支援について ○ 労働時間と解雇の規制強化について	継続審査

継続審査となっていたもの

請 願	○ 「戦争法案」の強行採決に抗議し、法の廃止を求めることについて	取り下げ
	○ セシウムを含む焼却灰の受け入れ再開への反対について	継続審査
	○ TPP交渉の合意の撤回を求め、協定の調印・批准を行わないことについて	
	○ 労働基準法改定案の撤回を求めることについて	
	○ TPP参加に反対し情報公開と国会審議の徹底を求めることについて	
	○ 原発の再稼働中止を求めることについて	
	○ 沖縄県名護市辺野古における米軍新基地建設の中止を求めることについて	
陳 情	○ 歯科衛生士を市の正職員として雇用することについて	
	○ 医療・介護及び年金制度などの社会保障の充実を求めることについて	
	○ 介護従事者の勤務環境改善と処遇改善の実現を求めることについて	

佐々木 公三郎 議員 (いぶき)



大館市の道の駅の魅力ある整備と集客力アップを

〔問〕 当市の道の駅は他市の道の駅に比べ、休憩機能、情報発信機能、地域連携機能の3つの機能面で見劣りするが。

〔市長〕 「道の駅やたて峠」と「道の駅ひな」については、現在の施設を有効に活用しながら機能を充実させる。

公衆電話の地図の明示と再整備について

〔問〕 児童生徒の緊急連絡対応や携帯電話等を持たない高齢者の対応は。

〔市長〕 防災マップに記載し、公衆電話を一定数確保することについてNNTTに要望する。

市民の立場に立った公衆トイレのあり方

〔問〕 公園などのトイレが冬期間閉鎖され使用できないが。

〔市長〕 凍結防止費用等を考慮し、検討する。

真田幸村の終えんの地について

〔問〕 「真田丸」放送をチャンスと捉え、藤原泰衡、安藤昌益、山城ミヨ終えんの地活用を。

〔市長〕 昌益の墓、錦神社は地元の理解と協力を得る。幸村の墓については史実の検証を要する。

松下村塾移築は民意が反映されていないのでは

〔問〕 移築先は現在地の環境にまざっていない。その分駐車スペースに充てたらいかがか。

〔市長〕 栗盛家の庭園を活用し、移築整備をする。駐車スペースは31台から60台となる。

〔問〕 地元住民に何ら説明もせず、行政不信を招いている。

〔市長〕 これは、移築場所とのかかわり、施設の管理、施設の活用と運営を考慮しての判断である。

〔問〕 大規模な図書館の拡充整備が話題になっている昨今、より慎重な計画性が求められると思うが。

〔市長〕 このたびの計画規模は、総合的に妥当なものだ。

受動喫煙対策について

〔問〕 児童生徒への取り組みは。

〔市長〕 受動喫煙から子供の健康を守る取り組みに努める。

富樫 孝 議員 (新生クラブ)



廃校舎の利活用について

〔問〕 交流人口をふやすための宿泊施設として考えては。

〔市長〕 廃校舎の利活用については、地域住民の交流の場や産直市場、レストラン、宿泊施設としての活用事例があるほか、お試し移住体験の受け入れ施設、民間事業者による活用や、起業支援施設として活用している自治体もある。現在、空き校舎となっているのは、旧花岡中学校、旧雪沢小学校、旧岩野目小学校の3校であり、地域活性化のための利活用について、地域の皆様から多くの要望をもらっている。廃校舎を宿泊施設として考えた場合、農業体験や宿泊体験などの拠点施設や、学生のスポーツ合宿などが考えられる。空き公共施設等利活用促進条例に基づく助成制度のほか、廃校の活用で利用可能な国の補助制度を利用し、さまざまな可能性を探りながら働きかけをしてい

きたい。

「守りたい秋田の里地

里山50」について

〔問〕 雪沢茂内屋敷地区のほかに推薦する地区を考えているか。

〔市長〕 県では、中山間地域の農地が有する多面的な機能を県民共有の財産として次代に引き継ぐため、去る1月21日、県内14の地区を「守りたい秋田の里地里山」として認定した。本市では雪沢の茂内屋敷地区が選ばれたが、28年度も募集する予定であるため、他地区からの応募や推薦を働きかけたい。農地の維持活動を通じて地域外からの支援の促進と交流人口の拡大につなげたい。

ふるさと納税について

〔問〕 今後のふるさと納税の有効活用を考えているか。

〔市長〕 ふるさと納税の使い道として、子供の成長支援、環境保全及び資源循環、高齢者等の生活弱者対策、その他寄附者が希望する事業、特に指定しないの5項目を設定して寄附者を選択していただいている。28年度は中学校へのタブレット端末の配置、大館版ネウボラ事業など47事業に2億円を充当する予定である。

岩本 裕司 議員 (新生クラブ)



国民健康保険税の課税限度額と

制度改正について

〔問〕 限度額の撤廃と全県一体管理による税の軽減となる高収納率を維持するべきである。市長の考えはいかがか。

〔市長〕 法で定める額を上限としている。国でも限度額の引き上げを図っている。県内全市中トップの収納率を維持・継続して公平な負担に努める。

TDPへの影響が地域に与える影響について

〔問〕 大館市への影響額の試算はどの程度か。農家は不安を感じている。対応は。

〔市長〕 県の試算を踏まえると約4億円と試算する。県と連携して攻めと守りの両面から対策し、安心して経営に取り組める施策を検討していく。

し尿処理場のあり方について

〔問〕 建設から30年が経過しており、安全性とこれからの運営管理、地域の環境対策、交通の危険性緩和対策の考えは。

〔市長〕 検討の結果、汚泥処理センター施設の新設、前処理施設からの下水管接続、下水処理場での共同処理を考えている。道路改良については、事業を勘案し状況調査を行っていく。

空家等特措法施行に伴う取り組みについて

取り組みについて

〔問〕 空き家等の対策を推進し市民の安全安心を図るべき。具体的方針はどうか。

〔市長〕 指定された家屋については法律に沿って対応する。費用の捻出が困難なケースには支援策も検討する。

横文字の使用に対する考え方について

考え方について

〔問〕 横文字があふれ、読みづらいと市民の方から意見があった。優しい横文字の使い方を考えたかどうか。

〔市長〕 あらゆる年代に伝わるような表記に心がけ、工夫と改善に努める。

ひかげ 賢悟 議員 (平成会)

今こそ、ふるさと納税日本一を目指してはどうか
また、寄附者を交流人口拡大につなげる政策も進めるべき

〔問〕 大館市のふるさと納税が堅調に推移し、全県一であることは非常に喜ばしい。しかし、ここで満足することなく、今こそ官民一体となり知恵を結集し、全国一を目指してはどうか。また、2万件を超える寄附者を交流人口につなげる政策も進めるため、DMO(※)や各課の連携が必要になると思うが。

〔市長〕 ふるさと納税制度は、地方創生の有効なツールであり、日本一を目指す提案には同感である。本市への寄附額が3億円を超えたが、まだ改善の余地はある。さらなる寄附額の増加に向け、既存商品の組み合わせ、隠れた商品の磨き上げ、常陸大宮市とのコラボ商品の検討や、ウェブカタログの公開などを予定している。また、寄附



者を分析し、魅力的な返礼品の開発や体験メニューの充実、秋田犬オーナー制度の創設などで、関係性人口と交流人口の拡大につなげる施策を展開したい。

大館市が所管する物件を極力少なくし、医療や福祉、子育て予算に重点配分するべき。そのため、未来に向けた建設的解体を

〔問〕 大館市において人口減少と少子高齢化がますます進む中で、市が現在所管する建物や構築物を極力少なくする建設的解体を実行し、医療や福祉といった高齢化対策や、子育て世代の養育費などの少子化対策に予算を重点配分するべきではないか。市民が未来に安心感を持てる政策の実現を求める。

〔市長〕 平成29年度の新地方公会計制度への移行に向け、市が保有する建物や土地、道路や上下水道など全ての固定資産、流動資産を明らかにする連結財務4表の作成を進めていく中で、公共施設の適正管理と維持管理費の抑制を図るとともに、少子・高齢化対策にもさらに取り組み、未来への希望と安心につなげたい。また、正札竹村本館棟については、解体やむなしとの状況を踏まえ、公共施設等総合管理計画において、28年度中に方針を提示したい。

そうま 相馬エミ子 議員 (新美会)

待機児童解消と
保育士の処遇改善

〔問〕 保育士不足は全国的な問題。保育士がいなかったため定員を割っている保育施設も出ており、臨時の保育士を募集しても応募がないため、無資格者で対応している施設もあるようだ。安心して子供を産み育てられる大館を目指すためにも、まずは保育士の処遇改善を優先させて取り組むべき。待機児童解消と保育士の処遇改善についての市長の考えを伺いたい。

〔市長〕 保育士確保と処遇改善は喫緊の課題であり、待機児童解消のためには保育士の働く環境を整えることが課題である。保育士宿舍借り上げ事業などの補助金を活用した処遇改善を民間へ働きかけてまいりたい。

〔問〕 正規雇用の保育士を1人募集したところ、30人の潜在保育士の応募があったと聞いている。宿舍の借り上げではなく、



保育士の処遇改善を。
〔市長〕 できるだけ早くに方針を決めていきたい。

移住促進の目玉として全ての
子供の保育料を無料化に

〔問〕 子育て世代の負担を軽減し移住者をふやすという観点で、全ての子供の保育料を無料化できないか。

〔市長〕 本市への移住促進としては有効な施策である。県のあきた未来総合戦略では第三子が誕生した際の第二子以降の保育料を無料にするとしており、県と協調してこの保育料助成を実施してまいりたい。

がん患者にウィッグと
乳房補正具の補助を

〔問〕 抗がん剤治療による脱毛は、女性にとつて精神的ダメージが大きく悲観的になるケースが多いと聞いている。山形県や岩手県北上市、県内では能代市が補助を実施し、患者に希望を与えている。本市も補助できないか。

〔市長〕 女性にとつて、治療の副作用により身体の一部を失うことでの喪失感、日常生活の不都合は察して余りある。支援策についてニーズ調査を行った上で検討してまいりたい。

たなかこうたろう
田中耕太郎 議員(いぶき)



旧正札竹村本館棟の今後

〈問〉 存続か解体撤去か。

〈市長〉 老朽化や損傷が著しく、活用は極めて厳しい状況であり「解体やむなし」との思いを強く持っている。周辺の商店の閉店が続く中、近接するスカイパーキングなどとあわせて平成28年度中に方針を提示する。

市長の市政運営について

〈問〉 本市の人口減少対策について、戦略的取り組みはどうなっているのか。

〈市長〉 人口減少は社会保障費の増大、労働力不足など悪影響を及ぼすことから本市でも喫緊の課題と考えている。将来の目指すべき人口を定め、その実現に向け総合戦略を策定した。

〈問〉 若者の定住を見据えた複合型交流拠点施設の整備にどのようなコンセプトを持っているのか。

〈市長〉 大館駅は秋田県の北の玄関口として、また、大館駅ならではの物語の結節点として位置づけるものである。忠犬ハチ公が大館駅から旅立ち、上野博士と会ったという物語の中での歴史的な意味を持っている。大館駅前周辺地区の再興は官民挙げて百年の大計をもって当たべき大事業と考えている。

三世代住宅建設への補助

〈問〉 国の補助制度の概要は。

〈市長〉 子育てしやすい環境づくりのため、三世代同居に対応した良質な新築住宅の取得に対し1戸当たり100万円、最大で150万円の補助が受けられるものである。市では、住宅リフォーム支援事業に総合戦略で掲げる新たなメニューを追加し支援していく予定であり、関連予算を提出している。

〈問〉 シングルペアレントの移住定住策のみならず三世代同居世帯への税の軽減について。

〈市長〉 三世代同居を後押しすることが定住人口の維持や市民の子育て、介護の面での負担軽減につながるものと同感である。平成28年度から三世代同居に対応したリフォーム工事を行う場合、所得税の特例措置を講じることとされている。健やかに次代を育むための各種施策を推進してまいりたい。

ささじま あいこ
笹島愛子 議員(日本共産党)



党独自で実施したアンケートの市民要望について

〈問〉 多くの市民から加齢や病気等による将来への不安が寄せられた。地方自治の本旨は福祉の増進であり、何よりも人が大事にされる施策を優先させなければならぬと思うが。

〈市長〉 地域コミュニティの活性化を図っていく必要がある。今後も高齢者の方が自分らしく暮らし続けられるよう地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいく。

〈問〉 若い人たちは「ゆとりある子育て」「経済的負担軽減」「安心できる保育所」を子育てに望んでいる。

〈市長〉 子育て中の若い世代では、子育ての経済的負担が大きいことから、国等の補助金を活用しながら保育サービスの向上と負担軽減を図るための施策

を実施する。

〈問〉 当面は大型道路の新設よりも、生活道路等の維持管理による安全対策の充実が必要との要望に応えるべきでは。

〈市長〉 本市の道路の「改良」については一定程度の整備が進んでいることから、今後は道路の「補修」に重点を置くこととしている。

保育士の正職員化など、市長がよく唱えている

〈問〉 現在、基幹保育園5園の職員109人中、60人が非常勤である。同様に子供たちにかかわっていないながら正職員にはボーナスが支給され、一方、非常勤職員にはボーナスがない。同じ保育士としてどのような思いでいるのか。非常勤保育士の正職員化を決断すべきでは。

〈市長〉 正職員保育士は、今後の園児数の見通しを踏まえ定員適正化計画に基づき採用しており、非常勤保育士は、毎年変動する待機児童の解消や延長保育に対応するために採用しているものである。正職員・非常勤を問わず、一人一人の能力を引き出し、内発的動機を高めていくことが「ひとづくり」につながるものと考えている。

人口減少対策について

〈問〉 地域が団結し、自治体が密接にかかわり適切な対策を講じること。地域・職場ぐるみで子育て世帯を支えること。誘致企業に依存し過ぎず、地域で取り組める新しい事業や既存産業にも目を向け、大館独自の事業を発展させること。以上が少子化対策に大切なことだと思いが、市長の考えは。

〈市長〉 コミュニティ機能の維持強化や社会全体で子育て支援する仕組みづくり、多様な雇用創出が大切であると考えている。持続可能な未来創造都市を目指し、努力したい。

大館市観光協会のあり方について

〈問〉 毎年、総会が紛糾し、会員からの声が届かないと聞いている。昨年の「日本海シンポジウム」において役員が「大館市はいわゆる観光地ではない」と

あべ ふみお
阿部文男 議員(平成会)



一般質問

〔7〕

いう発言をしたことが新聞に掲載されていた。観光協会の代表として出席した役員がこのような発言をしたことから「大館市は観光地ではない」との考えのもとで観光事業に漫然と当たっているのではないかと大変に驚いた。市民の税金から多額の補助金が交付されており、会員の協力を得た上で事業が行えると考ええるが、このような状況では市との足並みがそろわなくなるのではないかと。今後のDMO事業が順調に進んでいくとは考えられない。大館市観光協会への補助金の大幅見直しを考えるべき。その上で市の観光課が中心となって観光協会と会員等の意思疎通を図り、官民一体となってDMOを推進してほしいと考えているが、市長の考えは。

〔市長〕

観光協会には組織体制等を整備していただき、関連団体と一体となってイベント等に取り組んでもらうことが重要と考えている。協賛金のみではイベント等の運営は困難であることから、事業内容を十分に精査し引き続き助成していきたい。

日曜日の

びみの受け入れについて

〔問〕 年に一、二度でも日曜日にごみの受け入れを。

〔市長〕

受け入れ体制や経費を勘案しながら検討したい。



おばた 新一 議員（公明党）

空き家解体ローンの利子補給や補助金交付の推進について

〔問〕 特定空き家に指定された住宅の解体を進めるため、解体ローンの利子補給や補助金の交付を検討すべき。解体費の助成を市内限定の商品券で支給してはどうか。

〔市長〕

金融機関と連携した解体ローンの利子補給、及び商品券による支給については、空き家所有者の負担軽減と解体の促進、市内産業の活性化の観点から有効な施策である。さらに情報収集を重ね検討したい。

DMOの進捗状況について

〔問〕 DMOの進捗度が早い理由を説明してほしい。今後、県外の自治体との連携をどのように進めていく予定なのか。

〔市長〕

DMO運営の財源となる地方創生加速化交付金を受けるためには、法人であることが条件との情報をいち早く把握したため、設立を1年前倒しす

ることとした。世界に開かれたゲートウエー「函館市」とつながりたいと考えている。

シングルマザーの自立支援

〔問〕 支援施設の入所者の中には、事情により家族と連絡をとれない方がいる。自立に際し市営住宅への入居希望をされる方には入居基準の緩和を検討してほしい。

〔市長〕

敷金については、減免や徴収猶予制度を設けている。保証人について、DV被害者など配慮が必要な方には、相談に応じ、きめ細やかな対応をする。

高齢者が活躍できるまちづくりの推進について

〔問〕 高齢者が集い、高齢者同士や世代間交流活動ができる機能を中央図書館に設置できないか。また、高齢者が外出しやすいようベンチ等を設置しては。

〔市長〕

中央図書館の増改築では、気軽に飲食や休憩ができるラウンジスペース設置を予定している。ベンチの設置は要望地域への配置を検討し進めたい。

廃止となった

秋北バスターミナルにバス停を設けられないか

〔問〕 コンバクトシティの観点からも検討してほしい。

〔市長〕 今後も可能性について協議を継続していきたい。



たむら 儀光 議員（平成会）

28年度当初予算編成について

〔問〕 策定に当たり福原カラーは出せたのか。

〔市長〕

28年度当初予算は普通交付税の一本算定化に伴う段階的な削減が見込まれるなど、厳しい財政状況下の編成となったが、未来を創造していく都市づくりに向けた「ひとづくり」「暮らしづくり」「ものづくり」「物語づくり」の4つの戦略を各分野で本市の特徴を生かしながら推進していくための予算としたところ。重点ポイントとして、将来の大館市を担う「おおだてびと」に対する人づくりへの投資であると考えている。新年度には未来の大館市を担う若手職員の外交力を養成するため、観光庁、秋田県観光連盟、そして大手広告代理店である電通へ職員を派遣する。交流人口を拡大させるためには外から多角的に大館を見つめ、幅広い人脈

をつくることで、どこよりも早く国内外の情報を入手し活用すること、そして一自治体にとどまらず広く地域連携に生かしていくことが重要だと考えている。「おおだてびと」に対する投資とは、子供から大人まで幅広く市民の「民の知見」を引き出すための施策や「ひとづくり」に取り組み、未来の大館市構築に取り組んでいきたい。

〔問〕 「ひとづくり」をどのように推進していくのか。

〔市長〕

「ひとづくり」に当たっては「人はみずからの学びと他者との交流で育つ」を基本方針として進めたいと考えている。本市では全国学力テストにおいて8年連続トップクラスとなっているほか、社会教育に向けた取り組みが文部科学大臣奨励賞、民間として最高の教育賞である博報賞を連続して受賞しており、今後はふるさとキャリア教育のさらなる進化を目指すとともに、教育と交流で培う能力をさらに伸ばし、「子育てのまち・大館」の実現に努めたいと考えている。



さとう
よしただ
佐藤 芳忠 議員 (無所属)



小・中学生を劣悪な環境に置いてまで松下村塾を移転・活用しなくてはならないのか

〔問〕 私は幾つかの小・中学校に行き学習環境を見てきました。さびだらけのゆがんだ靴箱やひび割れた廊下、抜け落ちた天井や雨漏りによる、しみだらけの体育館、大柄な中学生は使用できない狭いトイレ、非常口の割れたガラスや遊べない遊具、数十年前のものと思えないような椅子や机など、私は当市の小・中学生がこれほど劣悪な環境で学んでいることを初めて知りました。そして、このような環境に置いてはいけないと思いました。教育委員会には全ての小・中学校から198件もの修繕要望が寄せられています。このような環境下で松下村塾を移転・活用しなければならぬ理由をお聞かせください。

〔教育長〕 修繕については、今後、年次計画で本腰を入れて取り組む所存です。松下村塾の移転と学校の改修はそれぞれ実

施すべき事業と御理解ください。

住民の同意を得ずに建設された
鶏ふん処理場と農林行政について

〔問〕 19年度に県と養鶏業者が矢立清水川には鶏舎を、二井田本宮にはその鶏ふん処理場を建設する計画を立てたとき、市はどうして反対しなかったのか。

〔市長〕 清水川の鶏舎等の用地に余裕がなかったことと、本宮には業者の鶏ふん処理場が既にあり、稼働していたからです。

〔問〕 矢立には1万7千平方メートルもの土地がありました。ですから、鶏を30万羽から23万羽に減らせば、鶏ふん処理場を矢立につくることができたのです。矢立につくらなかったのは鶏の飼育数を減らしたくなかったからです。また、既存の処理場は本宮の鶏ふんを処理するためのものでした。一番の問題は、県も市も業者も住民の同意が必要なることを知っていながら、同意を得ずに密かに計画を進め、強引に鶏ふん処理場を建設したことです。

〔問〕 20年7月、住民の同意を得ていないのに「1町内に話している」との養鶏業者の話だけで、二井田本宮鶏ふん処理場への国庫補助を認めた理由は。

〔市長〕 市は養鶏業者が地元で説明して了解を得ているとの認識でした。二井田地区町内会長連絡協議会への説明も行って事業を進めたものです。

議会報告会

市に対するご意見・
ご要望とその回答

平成27年
11月開催

市の回答

議会報告会における市に対するご要望等につきまして、議会から文書で市当局へ回答を求めたところ、回答が届きましたので、その全文をここに掲載させていただきます。なお、議会のホームページでも同様に公開しております。

〔問〕 広報に片仮名文字が多く、理解できないことが多い。高齢者にも優しい広報であってほしい。

〔答〕 外国から入ってくる言葉がふえ、的確に日本語で表現できないものの中にはあるため、市広報ではどうしても使わざるを得ない場合はカタカナで表記しています。カタカナ語を使わなくても簡潔に説明できるものは、極力、日本語で表記するとともに、併用表記や注釈をつけるなど、市民にご理解いただけるよう、わかりやすい言葉遣いを心がけてまいります。

〔問〕 地方創生に対して大館市の方が見えない。伝わってこない。

〔答〕 本市の喫緊の課題である人口減少問題を克服し、地方創生の実現に向けた戦略的施策を進めるため、昨年12月に「大館市総合戦略」を策定しました。今後、本戦略に基づき、具体的な施策を実施してまいります。

〔問〕 大館市の介護保険料は適正なのか。入所待機者を出さないため、施設を建てるために値上げすると聞くがどうなのか。

〔答〕 介護保険料は、介護サービスの利用見込みと高齢者人口の推移を踏まえ、健全な介護保険財政を運営する上で必要な保険料として決定しています。

入所待機者の解消を図るための施設整備は、建設する法人等の資金により整備されており、今年度からの介護保険料の引き上げは、要介護者数の増加など介護サービスの利用増加によるものです。

今後も高齢者人口の増加が見込まれることから、介護が必要にならないための予防施策や生活支援施策の充実を図り、介護保険料の抑制に努めてまいります。

問 ご当地アイドルの今後の活動を市としてどのように考えているのか。観光PRに同行させる考えはないか。

答 ご当地アイドル「まちあわせハチ公ガールズ」は、きりたんぼまつり実行委員会のプロデュースにより誕生しましたが、当初の目的であるきりたんぼまつりのPRの枠を超えて、ご当地アイドルとして本市のPRに大きく貢献いただいております。

しかしながら、メンバーの皆さんは中学生・高校生であり、その本業は学業です。現時点で市の観光PRへの同行を依頼する計画はありませんが、許容される範囲での協力依頼については、今後の課題と考えています。

問 松下村塾について、利用の仕方が安直ではないか。

答 竹村吉右衛門氏の遺志を引き継いだ形で寄附を受けた「松下村塾」については、中央図書館敷地内へ移設し、松下村塾を併設する図書館としての一体的・特徴的な活用や、生涯学習事業に関連した活用を図ってまいりたいと考えています。

問 田んぼに排雪されているが、圃場の土壌の性質上、入れられては困る場所がある。土地所有者に連絡してほしい。

答 道路除雪は、道路両端への振り分け除雪を基本としていますが、あらかじめ承諾をいただいている土地については雪押し場として利用させていただき、それ以外については路肩あるいは道路法面に堆積するなどして道路幅員の確保に努めています。

道路に隣接する農地については、除雪によって石やごみの混入が想定されるため、消雪後に現地確認をして支障となった際には除去作業を行うよう指導しているところです。

ご指摘の内容については、市内全域において除雪路線に隣接した農地（田）が相当数あるため、個別に現地の実態を確認しながら対応を検討してまいりますので、お手数ですが土木課までご連絡願います。

問 ふるさと納税者を対象とした見学ツアーを考えていないのか。県外の観光客を呼び入れては。

答 本市では、重要施策の一つとして観光客の誘致を掲げているところであり、さまざまな方法により本市への来訪客数を増加させたいと考えています。

ふるさと納税は、本市の魅力を発信する有力な手段であり、今後、農業体験、きりたんぼづくり体験、曲げわっぱづくり体験など、見学ツアーを含む体験型メニューの旅行商品を提供できるよう、旅行会社等と協議するなどし、その実施を検討してまいります。

問 都市計画税は全国的に廃止の方向なのに時代に逆行している。どこに使われているのか。廃止の方向で考えてほしい。

答 都市計画税については、平成26年度は街路築造事業費として、街路事業及び比内まちづくり事業の償還金分1億3,946万5,000円、土地区画整理事業費として、事業費及び償還金分2,588万4,000円に充当させていただきました。平成27年度は、街路築造事業費に約1億2,600万円、御成町南地区土地区画整理事業費に約2,400万円を充当しています。

今後、都市計画事業における費用負担の方法を検討していく中で、都市計画税の廃止を含めた税体系の見直し方法や見直し時期について、議会や有識者を含めた検討委員会を設置しながら検討してまいります。

問 流雪溝について、前市長へ同盟会をつくって要望したところ、河川公園ができたら着工することだったのであったが、まだやっていない。扇田全体をもう一度考えてほしい。長い目で見ればかえって安上がりだと思うので、検討してもらいたい。

答 扇田地区には、主要地方道比内田代線沿いに流雪溝が整備されていて、平成26年度には市で揚水ポンプを更新し水量を確保したところであり、当該路線の冬期交通空間の確保と沿線住民の雪対策に効果が上がっています。

流雪溝の整備は、取水方法や水量の確保、流末となる放流先の状態が重要であり、また、費用も多額となることから慎重な調査、検討が必要となりますので、当面は雪押し場の確保や排雪による対策で対応してまいります。

問 TPPについての取り組みはどうか。特産物の山の芋、枝豆、とんぶり等、もっと大切にしていくべきではないか。

答 TPPの大筋合意を受け、国においては内閣に「TPP総合対策本部」を、農林水産分野では「農林水産省TPP対策本部」を設置、秋田県においては「秋田県TPP農業対策本部」を設置し、TPPが発効された場合の県農業への影響分析や県内農家への支援策を検討することとしています。市としては、国や県による影響試算等の分析や対策の検討結果等の情報収集を行いながら、意欲ある農業者が安心して経営に取り組めるような必要な対策を検討してまいります。

市の特産物である山の芋、枝豆、とんぶりについては、いずれも重点戦略作物として振興を図っているところですが、中でも枝豆については、県と全農が生産拡大に取り組んでいて、市においても最重点戦略作物として、生産拡大に必要な機械導入や農産物流通加工センター建設への支援を行うとともに、「大館産えだまめ」の認知度向上による「えだまめのまち大館」の

実現へ向けた活動をしてまいりました。また、28年度には大規模な枝豆の園芸団地を整備する計画があります。

山の芋、とんぶり等についても、生産物の付加価値をより高めるためのブランド化や6次産業化に向け、関係団体等と連携を図りながら、農業経営のバックアップをしてまいります。

問 田代地域の芸術文化協会の補助金が年々減ってきており、田代地区文化祭を行うのに苦労している。

答 限られた財源の中からの補助金交付であり、補助事業の目的や事業効果、団体の状況等、さまざまな角度から検討した上で、個々に補助金額を決定し交付しておりますので、ご理解をお願いいたします。



問 市庁舎について、裁判所裏で景観上、市役所の威風が保てるのか。比内庁舎などの分庁舎を有効活用すべきでは。整合性を説明してほしい。場所についてのパブリックコメントの有効性はあるのか。ビジョンを明確にし、もっと活発な議論を重ねるべきではないか。

答 「現庁舎及び周辺敷地」の中で、建設費、駐車台数、桂城公園の整備拡張時の影響などを考慮し、「裁判所裏」を建設場所とする計画案を策定しました。桂城公園と一体的な景観形成、駐車場の確保、市役所と公園の利用者の相互利用などを主眼としながら「裁判所裏」での本庁舎建設を進めてまいります。

現在、建設部などを置いている比内庁舎（職員数105人）は新庁舎建設後も利用することとし、その分、新庁舎の延床面積をできる限り抑えた計画にしています。

市では、施策や計画策定などに対する市民の意見を広く募集することとで施策等に対する市民参加を進め、その意見を十分検討の上、意思決定するためにパブリックコメントを実施しています。平成26

年8月に基本構想案についてのパブリックコメントを実施し、建設場所に関し市民からさまざまな意見が寄せられました。市で示した配置例3案のいずれかと、詳細をさらに検討して3案の中から決定すればよいとする方を会わせると全体の6割以上となり、この結果を踏まえて市議会での審議や市の新庁舎建設検討委員会での検討し、「裁判所裏」を建設場所としました。

今後も、基本設計等、建設に向けた各段階において専門的知見を有する外部の有識者や市議会、市民のご意見を伺いながら事業を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

問 農業用排水、泥上げなどについて、土地改良区と市が連携できないか。

答 農業用排水路等の農業用施設の維持管理については、受益者が維持管理を行うことが原則です。不具合がある場合は、市と土地改良区等が協議し、受益者を特定して維持管理をするようお願いしていますので、農林課までご相談ください。

問 若い人が遊べるところ、イベント、スポーツセンターなどが必要ではないか。

答 交流人口増加と移住・定住促進のための施策を展開していく中で、いただいたご意見を参考に、若者や学生が集い、交流できるような場についても検討してまいります。

問 旧花岡線の土手の件、トンネルをつくってほしい。旧小坂線の道路整備について、草刈りをしてほしい。旧小坂線沿線や駅前の排水施設整備をしてほしい。駅前開発はどうなっているのか。

答 旧花岡線の盛土部分へトンネルをといてご要望については、トンネルなどの構造物設置には多額の費用が必要となりますので、土砂の撤去等による整備手法の検討も含め、周辺の道路状況や土地利用形態を勘案しながら、旧花岡線跡地の活用を検討してまいります。

旧小坂線の草刈りについては、大館駅前から旧代野駅までの区間において、住宅が隣接する箇所は年2回、それ以外の箇所は年1回実施しています。

排水施設の整備については、昭和60年策定の排水計画に基づき事業を進めていますが、平成25年8月には大館駅前で大雨による浸水被害が発生するなど、近年は異常気象の影響等による豪雨が頻発していて、気象条件が計画策定時と異なる状況となっています。今後、降雨確率や排水区域内の土地利用状況などを再検討するとともに、放流先となっている米代川をはじめとする河川整備の状況を加味しながら、既存計画の大幅な見直しを進め、整備を検討してまいります。

駅前開発については、来年度から秋田県と協働し、あきた未来づくりプロジェクト事業に取りかかる予定であり、この中で大館駅前の開発を検討することとしています。

問 御成町四丁目のいとくSC側の通りの除雪について、子どもが歩くときに危険。

答 ご指摘の周辺は交通量や歩行者も多いため、今後も歩道及び交差点周辺の見通し確保や段差解消など迅速な対応を行ってまいります。

また、御成町南地区土地区画整

理事業が施行されている、いとくSC西側についても、道路管理者である県と連携しながら安心・安全な歩行者空間の確保に努めてまいります。

問 駐車場について、文化会館の催し時に駐車場が少ない。桂城公園体育館駐車場を開放してほしい。長木川河川緑地も時間外になると閉めてしまいが、有効活用したらどうか。

答 文化会館の駐車場については、現在、満車となった時点で桂城公園体育館駐車場へ案内するとともに、城南小学校から許可が得られた際には学校敷地内駐車場も案内しています。また、催し物の開催日が土・日曜日の場合、市役所駐車場へも案内しています。

文化会館駐車場の確保は、樹海ドームと同様に最重要と認識していることから、前庭の撤去、立体化などを今後の課題としています。

長木川河川緑地の駐車場については、白鳥広場、多目的広場、デイクャンプ場両岸の計4カ所において、午前8時30分から午後6時まで開放し、夜間は施錠しています。これは、防犯上の措置であり、

近隣住民への騒音なども考慮したものであることをご理解願います。

問 除雪問題について、町なか、中心街の歩道や横断歩道を通れるようにしてほしい。車道だけ除雪されればよいと思わないでほしい。

答 市では、冬期間における市民生活の安全と道路交通の確保を図るため、道路除排雪計画を策定しています。この中では歩道や通学路の除排雪を優先して行い、安全な歩行者空間の確保に努めることを基本方針として掲げているところです。

26年度は戦後最大級の豪雪となり、交差点周辺や歩道及び通学路において、見通しや歩行に支障をきたした箇所があったことから、これを教訓とし初期除雪や除排雪体制の強化を図っていますので、ご理解をお願いいたします。



私もひとこと 第26回

笹嶋 岩 秋さん (大館市観音堂)



—ノルウエーの 育児制度について—

60歳で退職し「人生後20年、元氣なうちに旅をしよう」と決め、妻や友人たちと海外旅行に出かけています。昨年、ノルウエーを旅しました。

ノルウエーは日本と同じ面積で520万人が暮らしています。大館地域労働組合事務局長をしていますので、旅先では現地ガイドさんに労働者の働き方や育児制度について聞くようにしています。首都オスロでは午後5時半頃車が混雑していました。ガイドは「残業が禁止なので今

がラッシュ」とのこと。

週休2日制と年間40日くらいのバカンス休暇があり、結婚して子供が生まれると妻が夫が育児休暇をとれます。49週休暇で賃金の100%、59週で80%の賃金保障です。夫は10週以上の育児休暇取得が義務づけられています。育児休暇が1年くらいなので0歳児保育はなく、1歳児以降の子供が保育園に入園の際には、母親が保育園で授乳に要する時間も有給となっています。日本では「保育所落ちた」と若いママさんたちが保育の充実を訴えています。この国は皆無です。

さらに、大学卒業までの授業料は無料で医療費も無料となっています。ひとり暮らしで亡くなったときは国が葬儀を行うそうです。個人所得世界2位の国で、男女ともに働くことが普通となっています。賃金から30%40%が税金として徴収され、仕事をしていないと「働く能力の

「私もひとこと」のコーナーでは、みなさんからの「まの声」を募集しています。議会事務局までご連絡ください。

ない人」と評価されるそうです。税金が高くて医療費や老後の不安があるので貯金することはありません。育児制度もあり、子供も増えているとのこと。日本の育児休暇制度を話したら「だから日本は子供が増えないのよ」と言われてしまいました。

商店街は午後6時頃には閉店で、スーパーも午後9時前にはお店を閉めます。24時間働く日本とは大きな違いです。

ノルウエーは「高福祉・高負担」と言いますが、私たちから徴収している「高齢者福祉充実のため」の消費税、実際は20%くらいしか福祉のために使われておらず、多くは法人税引き下げ後の税収不足の穴埋めや、国の事業に流用されていると言われます。子供の授業料、医療費、健康保険料負担、介護保険料、その他の税制度を見ると、日本は「低福祉・高負担」の国ではないのか。私たちが納めた税金の使われ方に一人一人が監視して声をあげていかねばと思いました。

市議会を傍聴してみませんか

定例会と臨時会の本会議はどなたでも傍聴できます。

傍聴されるかたは、市役所東側（裁判所側）3階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従って議場へお入りください。

なお、団体での傍聴をご希望の場合は、傍聴席の数に限りがありますので、あらかじめ議会事務局にご連絡ください。

☎ 43-7108 (直通)

編集後記

「光陰矢の如し」とはよく言ったもの。せっかく四季のある国に住んでいるのに、その季節を楽しむ間もなく時は過ぎ去る。皆さんはどのように四季を感じていますか。「そんな余裕などないよ！」という方もおられるでしょう。でも、ちょっとした工夫で楽しめるかもしれませんよ。実は、私もフレッシュの仕方を考えているところです。

さて、元氣な大館を維持し、さらに活気づけるためにも、ぜひ議会を傍聴し、市政に対する皆さんの御意見を聞かせたいと思います。

(笹嶋 愛子 記)